

長期存続する公民館の施設空間に関する研究
 —まちづくりに貢献する「優良公民館」を通して—
 A Study on Facility Spaces of Long-lasting Kominkans
 -Through "Yuryo Kominkan" that contribute to town planning-

○松島萌華¹, 落合正行²
 Moeka Matsushima¹, Masayuki Ochiai²

Abstract: The purpose of this paper is to clarify the characteristics of the facility space for Kominkans that has been in operation for a long time and recently rebuilt in Japan. As a result, it clarified the status of complexes by city size and the characteristics of complexes through "Yuryo Kominkan".

1. 研究目的 ; わが国では, 社会教育法にもとづき 1946 年以降に公民館が全国各地でつくられ, 2021 年現在では 13,798 館もの施設が存在する⁽¹⁾. しかし, 市町村合併による施設再編やコミュニティセンター等の類似施設との競合に伴い, その数は減少傾向にある¹⁾. 他方, 文部科学省が選定する「優良公民館」では, 人や地域づくりに大きく貢献する施設が対象⁽²⁾となる等, まちづくりに対する期待は大きい. このような過渡期にある公民館だが, 本来社会教育の場としてまちづくりに寄与する施設であることが重要であり, 「公民館建築の遺伝子」ともいべき施設空間の特徴について, 現存する公民館から洗い出し整理する必要がある.

そこで本研究では, 継承すべき公民館建築の特徴を捉えるため, 1946 年以降これまで長期運営が行われ, 今後も需要が見込まれる近年建て替えられた公民館を対象に, 施設空間の特徴を把握することを目的とする.

2. 研究方法 ; 以上より, 表 1 に示す調査を行った.

3. 結果および考察 ; 表 1 の結果, 本研究対象の公民館は 99 館であり, これら公民館の地域ごとの変容実態をみるべく, 都市規模ごとの複合化の状況に着目し,

その内訳を示したものが表 2 である. また, このうちまちづくりへの貢献が図られている「優良公民館」19 館の中から複合化した公民館 11 館の立地, 開設・建設年, 建物概要, 室構成を示したものが表 3 である. 以降はこれらをもとに考察する.

(1) 都市規模ごとに見る公民館の複合化の状況 ; 表 2 より, 人口 50 万人以上の〈政令指定都市〉が全 99 館中 9 館 (9.1%) と 1 割にも満たない一方, 人口 5 万人以上の〈市〉が全 99 館中 64 館 (64.6%) と半数以上であり, 〈町村郡〉を含めると約 8 割を占めることがわかった. つまり, 都市規模が小さい, いわゆる住民の顔がみえる規模の地域に立地する公民館といえる. 一方, 複合化の状況を見ると, 人口が多い〈政令指定都市〉のみならず, どの都市規模においても〈複合〉公民館が半数を超えていることから, 都市規模に関わらず複合化していることがわかる. なお, これら 99 館の開設年をみると 1957 年以前⁽³⁾であることから, 1959 年まで²⁾の公民館が変容しはじめる前の, 公民館構想の原型を残す公民館といえるが, こうした公民館においても複合化している現状を捉えることができた.

(2) 「優良公民館」に見る複合公民館の特徴 ; 表 3 (A) より, 全 11 館のうち〈中核市〉が 3 館, 〈市〉が 6 館, 〈町村郡〉が 2 館であり, 研究対象公民館 99 館のうち「優良公民館」の 19 館は〈中核市〉以下の, 地域的拠点としての意味合いがうかがえる.

さらに, これら「優良公民館」11 館の室構成 (表 3

表 2 都市規模ごとの公民館の複合化状況 [筆者作成]

都市区分	人口規模	複合化の状況		合計
		複合	単独	
政令指定都市	人口 50 万人以上	5 (5.1)	4 (4.0)	9 (9.1)
中核市	人口 20 万人以上	8 (8.1)	7 (7.1)	15 (15.2)
市	人口 5 万人以上	35 (35.4)	29 (29.3)	64 (64.6)
町村郡	-	6 (6.1)	5 (5.1)	11 (11.1)
合計		54 (54.5)	45 (45.5)	99 (100)

注) ()内は割合を示す.

単位 : 館

表 1 調査概要

①研究対象公民館の抽出	
期間	2023 年 8 月 13 日 (木) ~ 9 月 4 日 (月)
調査対象	直近 4 回 (平成 15,20,25,30 年度) の全国公民館実態調査結果
調査内容	施設名称/所在地/開設年/建設年/敷地面積/延床面積/優良公民館の表彰歴
対象施設の抽出方法	上記の調査で把握した公民館のうち, 1946 年以降開設された公民館の中から, 社会教育法の公民館の設置及び運営に関する基準の見直しによって施設計画の自由度が増した 2003 年以降に建て替えられ, かつそれまでに 60 年以上が経過する公民館 99 館を抽出.
②優良公民館 19 館の詳細把握	
期間	2023 年 8 月 20 日 (木) ~ 9 月 19 日 (火)
調査対象	①より抽出した 99 館のうち, 過去の表彰歴が把握できた優良公民館 19 館
調査方法	各公民館の HP および公民館の設計者または施工者の HP
調査内容	①の調査で把握した内容に加えて, 各公民館から平面図を入手し平面および階構成を把握するとともに, 行事表や活動団体一覧表から事業内容を確認.

1 : 日大理工・学部・まち 2 : 日大理工・教員・まち

(C) をみると、〈全体集会〉の諸室は2階以上よりも1階に配置される施設が多いことがわかる。例えば、「船橋市北部公民館」(No.1)の1階講堂では文化祭や音楽コンサート等が行われ、多くの住民を呼び込むべく、不特定多数がアクセスしやすい1階に配置されていると考える。同様に、〈交流〉の諸室はどの公民館も1階にのみ配置されているが、「松川中央公民館」(No.11)のように、複合施設でも分棟形式にすることで交流室や談話室が1階に配置でき、特に授乳室が併設されたカーペット敷きの交流室では、子ども連れでも安心して滞在できることから親同士の交流に寄与していると考えられる。一方、〈小集団活動〉の諸室は2階以上に配置される施設が多いことがわかる。例えば、「佐倉市志津公民館」(No.6)のように、複合用途が多数あり出張所や地域包括センターが1階に配置されたことで、特定少人数で使用する小規模な会議室や和室は2階以上に配置されたと考えられる。

他方、〈専用実習〉の諸室は1階と2階以上のどちら



写真1 船橋市北部公民館 (第73回優良公民館³⁾)



写真2 小山市間々田公民館 (小山市 HP⁴⁾)

表3 優良公民館における複合公民館11館の特徴 [筆者作成]

No	公民館名	(A) 立地				(B) 開設・建設年		(C) 建物概要		(D) 室構成											複合用途						
		所在地	都市規模	用途地域	開設年(年)	建設年(年)	敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	階数	全体集会			小集団活動			交流	専用実習					管理					
										ホール	講堂	集会所	多目的室	会議室	研修室	講座室	学習室	和室	談話室・相談室	交流室		調理室	工芸室	陶芸室	音楽室	遊戯室	運動実習室
1	船橋市北部公民館	千葉県船橋市	中核市	市調	1953	2014	3,992	1,939	2	○	●	3	●		●												○出張所
2	金沢市鞍月公民館	石川県金沢市	中核市	一住	1952	2012	1,785	1,090	2	●	2	○	○	●			○	○	○								○児童館 ×老人憩いの家
3	鳥取市立東郷地区公民館	鳥取県鳥取市	中核市	市調	1949	2012	2,661	468	1					○	4		○										○保育園
4	小山市立間々田公民館	栃木県小山市	市	市調	1949	2009	36,000	2,106	2				○	3	●	4	●	2			●	●	●		○		○出張所 ○図書館 ○地域包括センター ○学童保育所
5	日光市落合公民館	栃木県日光市	市	非線	1951	2014	4,539	175	2	○				●	3		○										○×地区センター
6	佐倉市志津公民館	千葉県佐倉市	市	二住	1953	2015	3,598	3,276	4		●		●	8		●	2			●	●		●		○		○出張所 ○地域包括センター ○カフェ ●図書館 ●児童館
7	伊那市美鷲公民館	長野県伊那市	市	非線	1946	2008	4,650	1,549	2	○				○	2	●	●	2		○	○						○図書館
8	焼津市和田公民館	静岡県焼津市	市	市調	1955	2018	5,184	2,448	3	○				●	4		●			●	●						○小学校 ○放課後児童クラブ
9	徳島市昭和公民館	徳島県徳島市	市	一住	1950	2013	2,050	1,106	2			○		○			○										○児童館
10	入善町飯野公民館	富山県入善町	町村郡	非線	1953	2015	3,923	1,415	1	○				○	2	○	2		○	2							○×コミュニティ防災センター
11	松川中央公民館	長野県松川町	町村郡	一中住専	1957	2018	11,813	1,992	3	●				○		●	3	○	○	○							△図書館 △体育館 ○放送局
2階以上に配置された室数 (●) の合計										8			38			0	15					0					
1階に配置された室数 (○) の合計										11			20			5	14					11					

[凡例] 一住：第一種住居地域 二住：第二種住居地域 一中住専：第一種中高層住居専用地域 市調：市街化調整区域 非線：非線引き区域
○：1階に配置 ●：2階以上に配置 ×：室配置なし △：分棟配置 ○●数字：室数

にもみられたが、例えば、「落合公民館」(No.5)の1階調理室は、趣味・教養に関する7サークルのうち5サークルが料理関係であり、公民館事業でも力を入れていることから、視認性が良く利用しやすい1階に配置されたと考える。また、「小山市立間々田公民館」(No.4)は全11館のうち唯一運動実習室があり1階に配置されていることがわかった。当該公民館は運動関係のサークルに力を入れており、敷地内にも広いグラウンドを有することから、このような特色のある室がつけられたと考えられる。一方、「焼津市和田公民館」(No.8)では、全ての専用実習室が2階に配置されているが、これは小学校との連絡通路が3階にあり専用実習室を兼用しているためであり、公民館と小学校との複合化によって上階に配置されたことがわかった。

4. まとめ；以上より、本研究では長期間存続する公民館を対象に、施設空間の特徴を明らかにした。今後も公民館が複合化しながら地域的拠点を形成するには1階の市民活動が視認できる空間が重要であり、どのように住民の意識形成がなされ、まちづくりに貢献しているのか、詳細に把握する必要がある。

補注；(1) 2021 (令和3) 年度の社会教育調査による。 / (2) 2022 (令和4) 年5月18日改正の優良公民館表彰要綱による。 / (3) 研究対象公民館99館のうち、1940年代に開設された公民館が40館、1950年代に開設された公民館が59館であり、そのうち最も新しい公民館の開設年は1957年である。
参考文献；1) 国立教育政策研究所 HP, <https://www.nier.go.jp/jissen/book/r03/index.html#kouminkan> (最終閲覧日：2023.09.22) / 2) 浅野平八：『社会教育施設としての公民館建築』『建築の研究』、一般社団法人建築研究振興会、No.222, 2014/3) 文部科学省 HP, https://www.mext.go.jp/a_menu/01_1/08052911/mext_00479.html (最終閲覧日：2023.09.26) / 4) 栃木県小山市 HP, <https://www.city.oyama.tochigi.jp/map/mamada.html> (最終閲覧日：2023.09.26)